

一般社団法人日本歯科専門医機構
令和4年度第11回理事会 議事録

1. 開催日時 令和5年3月3日（金）午後2時00分～午後3時15分
2. 開催場所 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 7階 7D（ハイブリッド形式）

3. 出席者（敬称略）

1) 理事数（定足数）ならびに出席理事数とその氏名（敬称略、順不同）

理事現在数 15名（定足数8名）

出席理事数 13名

出席者	会場参加	今井 裕、砂田勝久、伊藤孝訓、木本茂成、古郷幹彦、浅海淳一
	WEB参加	柳川忠廣、鳥山佳則、村上伸也、松村英雄、小方頼昌、豊田郁子 宮脇正和

欠席者 丹羽 均、丸川珠代

陪席者	会場参加	丸山高人
	WEB参加	木村博人

2) 監事現在数ならびに出席監事数

監事現在数 2名

出席監事数 2名

出席者	会場参加	横山敏秀
	WEB参加	永井裕之

議長は、定款31条第1項により理事長が務める旨報告され、定足数の充足を確認し本理事会の成立を宣した。開会に先立ち、本日の理事会には、丸山高人顧問弁護士、木村博人専門医申請学会評価認定委員会委員長がオブザーバーで出席する旨が報告された。

4. 開会の辞

鳥山副理事長が開会を宣し開会した。

5. 挨拶

今井理事長より理事会を始めるにあたり挨拶があった。

6. 令和4年度第10回理事会（臨時）議事録(案)の確認

砂田専務理事より、令和4年度第10回理事会議事録（案）について説明があり、基本的に了解が得られた。なお、意見、修正等がある場合には1週間以内に事務局に連絡するよう依頼された。

7. 報告

(1) 庶務報告

砂田専務理事より、令和5年2月9日以降に開催した会議等について報告があった。

(2) 会計報告

木本業務執行理事より、令和5年2月21日までの会計収支計算書について報告があった。

(3) 委員会報告

砂田専務理事より、専門医申請学会評価認定委員会、IT広報委員会、共通研修評価認定小委員会、共通研修企画実施小委員会、厚生労働省委託事業委員会の開催内容等について報告があった。

(4) 新たな専門領域に関する協議の進捗状況について

砂田専務理事より、新たな専門領域に関する進捗状況として、インプラント歯科専門医（仮称）、総合歯科専門医（仮称）に関する協議について報告があった。

また、鳥山副理事長からインプラント歯科専門医（仮称）の研修施設について、何か具体的な方向性が導けるかという質問があった。

これに対し、今井理事長から現在新しい制度を構築しており、それに則った研修施設をこれから新たに造り上げていく。既存の研修施設を云々というような議論にはなっていないとの回答があった。

(5) 厚生労働省委託事業について

砂田専務理事より、第2回の厚生労働省委託事業に関する委員会の開催状況について報告があった。

(6) 広報活動について

砂田専務理事より、漫画を使った広報活動の状況とご協力いただく日本歯科医学会連合との協議についての報告があった。

また、松村理事より、日本歯科医学会連合として協力申し上げる体制である旨の補足説明がなされた。

(7) その他

砂田専務理事より、既存の広告可能な5学会に対し、来年度は制度認定に関わる更新時期を迎えることから、現在の制度が「歯科専門医機構が認定する専門医の制度設計の基本方針」や「歯科専門医制度基本整備指針」と合致しているか確認願いたいこと、また、共通研修の履修状況を確認いただき、未履修者に対する各学会の対応方法について機構に報告いただきたい旨の文書を発出したことについて報告があった。

8. 審議事項

第1号議案 2022年度第2期運用審査

今井理事長より、2022年度第2期運用審査について審議の依頼があった。木村専門医申請学会評価認定委員会委員長より、日本口腔外科学会、日本歯周病学会、日本小児歯科学会、日本歯科放射線学会からの運用審査におけるヒアリングの状況について説明があり、適正かつ公正に運用されている旨の報告がされた。

これに対し、理事からは特に意見はなく、審議の上承認された。

また、今井理事長より当初、資料の事前送付時に第2号議案として「補綴歯科専門医制度の運用審査」が審議予定とされていたが、木村専門医申請学会評価認定委員会委員長からの指摘事項を当該学会が修正するにあたり一定の時間が必要であり、適切に修正されたことが確認できた後、改めて理事会にて審議いただくこととした旨の説明がされた。

9. 協議事項

(1) 来年度の活動について

今井理事長より、来年度以降ポスト10も含めて機構の事業展開について各理事に対し意見を求める旨の提案があった。

これに対し、鳥山副理事長から、学会の幹部以外、あるいは学会医以外の開業医や研修医、学生にも関心を持ってもらえるような活動が必要との意見があり、今井理事長から、国民の方々にいかにこの制度を知らせるか、今後漫画の作成や、SNSを駆使して情報発信していきたいとの回答があった。

宮脇理事からは、機構ホームページに専門医の認定を受けた先生方の一覧が掲載されているが、私が生活している地域にはほとんどいないといった状況であり、身近な開業医の先生方にこの制度に参加していただきたいとの意見があった。

古郷理事から、共通研修の対応として、eラーニングシステムの導入についての提案があった。また、豊田理事からも同様に対面では参加できない地域の方も参加できる仕組みをこのような場で定期的に協議していきたいとの意見があった。これに対し、今井理事長から、eラーニングシステムについての議論は行っており、ある程度プログラムが蓄積されると運用ができるのではないかと考えているとの回答があった。また、歯科の領域は日々更新されるので、全てをeラーニングシステムにするのは難しいという意見もあるということをご承知おきいただきたい旨の回答があった。

(2) 令和5年度定例理事会の日程について

砂田専務理事より、令和5年度の定例理事会の日程について提案があり、これに対し、理事からは特に意見はなく、提案のとおり日程の調整を進めることとなった。

10. その他

砂田専務理事より、各理事から報告、審議、協議等があればご意見を頂きたい旨の発言があり、出席した理事、監事、陪席者より意見を求めた。

11. 閉会の辞

柳川副理事長から、議題の審議等が終了した旨が宣され、閉会した。

令和 年 月 日

議長・議事録作成者

理事長 今井 裕 (印)

監事 横山 敏秀 (印)

監事 永井 裕之 (印)